

五中・夢バトン

豊中市立第五中学校
学校だより
令和3年(2021年)
7月20日
発行責任:校長 石井 武

★2021年度1学期終業!

70日間の学びと成長を2学期に活かそう!

終業式

授業日数70日間(1年生は71日間)の1学期、本日無事、終業の日を迎えました。新型コロナウイルス感染拡大の第4波の中、4/7の第70回入学式で第70期生136名を新たな仲間へ迎え、創立70年目の五中は「創校」をキーワードに、新たな学校づくりに積極的に取り組んだ1学期でした。宿泊行事が2学期に延期となったり、5月のクラブ活動が休止となったりするなど多くの試練がありました。



しかしみなさんは学校生活を充実させるために、各学年とも議員や体育委員さんなどが中心となって体育館や教室でのレクやミニ運動会などを企画するなど、みんなで盛り上げ、みんなが楽しみ、みんなを応援している姿にクラスや学年の連帯と絆の深まり、そして五中生の確かな成長を感じ取ることができました!

また、各学年の廊下には、1年は国クイズや「今大事にしていることば」、暑中見舞いはがき、2年は短歌鑑賞のイメージ画や「おもいで夢を持ち上げよう!」がんばるぞカード、3年は創作俳句やそのイメージ画など、みなさんのたくさんの作品が掲示されています。主体的に授業やクラスづくりに取り組んでいる成果だと思います。2学期にはより一層の飛躍を大に期待しています。



★感染症や熱中症に気をつけて、有意義な夏休みを!

～創立70周年記念「未来の五中」を想像しよう～



いよいよ明日から35日間の夏休みに入ります。サマーノートを活用して自らが立てた目標達成に向け、有意義な日々を過ごしてほしいと思います。何よりも健康第一です。手洗い、マスク、換気、密を避ける行動など新型コロナウイルス感染予防や熱中症予防には細心の注意を払い、病気やケガ、事故やトラブルのない安全で楽しい夏休みにしてくださいね。

さて、私からのお願いとしてサマーノートp16でお知らせしていますが、来年度五中が創立70周年を迎えるにあたり、これから作成する「70周年記念誌」にみなさんが想像する「未来の五中」のページをつくりたいと考えています。表現方法としては、詩や作文など言葉で伝えてもらってもいいですし、画用紙などに絵やイラストで表現してもらっても結構です。画用紙や原稿用紙が必要な人は担任の先生に申し出てください。みなさんの柔軟な発想で理想の未来学校をイメージし、数多くのユニークで素敵な作品を待っています!



★7/9「ビブリオバトル2021」予選

12名の「熱き語り」に引き込まれました！

7月9日（金）放課後、多目的室において、「第3回ビブリオバトル2021」予選が実施されました。「ビブリオバトル」とは、「人を通して本を知る。本を通して人を知る」をコンセプトに、発表者（バトラー）が面白かった本を、一人3分で熱く語り、聞き手が「どの本を一番読みたくなったか？」を基準として投票を行い、票を多く集めたものを「チャンプ本」として決定します。

予選に挑んだ12名のバトラーのみなさん、本当にお疲れさまでした！3分間に自分の思いを凝縮し聞き手に伝えるためには、相当な練習を積み重ねてきたことと思います。12人それぞれの個性とおすすめ本の素晴らしさが十分伝わり、本の世界に引き込まれました。



決勝に進む6人のみなさん、おめでとうございます！五中のチャンプ本めざして、10月の決勝大会でもさらなる「熱き語り」を大いに期待しています！また、司会や審査などテキパキと運営してくれた図書委員会のみなさんのおかげで、素敵なビブリオバトルになりました！ありがとうございました！

学年	組	バトラー	書名	決勝
3年	3組	佐塚 みや美	最後は会ってさよならをしよう	
	2組	土山 咲月	交換ウソ日記	
	1組	吉村 夏苗	きみの友だち	★
	4組	高田 雛加里	かくしごと	★
2年	1組	井上 怜泉	余命10年	★
	1組	今田 一輝	くまモンのらんわりやる気になる言葉	
	3組	中筋 和香奈	52 ヘルツのクジラたち	
	3組	濱崎 幸楽	LIFE 人間が知らない生き方	★
1年	2組	丹波 朋花	黒猫とさよならの旅	★
	4組	西江 愛奈	四つ子ぐらし②～一花ちゃんを追う！	
	2組	西岡 佑有菜	星の王子さま	★
	4組	寶満 玲奈	ふしぎ駄菓子屋銭天堂	

★保護者のみなさまへ・・・

- 本日、無事1学期終業の日を迎えることができました。保護者のみなさまのご理解、ご協力に心より感謝申し上げます。夏休み期間中も感染症や熱中症等に十分ご留意のうえ、安心・安全を第一に充実した日々をお過ごしくださいようお願いいたします。
- 夏休み中に新型コロナウイルス感染等に関してご家族に心配な状況がありましたら、いち早く学校にご連絡ください。土日祝日や学校閉庁日（8/12・13）、平日夜間の時間帯は、双葉警備会社（06-6533-0116）にお電話ください。警備会社から校長に連絡が入りますので、対応させていただきます。



★「6.23沖縄慰霊の日」～平和な世界、私たちがつくる～

76年前の沖縄戦では、住民を巻き込んだ激しい地上戦で20万人を超える人が犠牲になり、沖縄県民の4人に1人が命を落としました。6月23日、糸満市摩文仁の平和祈念公園では沖縄県主催の戦没者追悼式が開かれ、宮古島市立西辺中学校2年、上原美春さんがここの「平和の詩」に選ばれた「みるく世(ゆ)の謳(うた)」を朗読しました。「みるく世」は、沖縄で「平和な世」を意味します。「みるく世の謳」の全文を紹介し、上原さんの想い、沖縄の願いを心で感じ取ってほしいと思います。



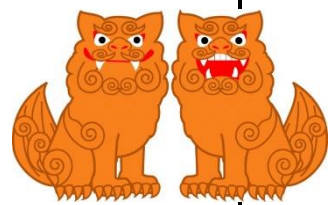
五中では、7月に各学年で平和についての学習を深めました。平和新聞を作成する学年もあると聞いています。8.6、8.9、8.15などの記念日を通して「平和について考える夏」にしましょう！

みるく世の謳

うえはら みはる
上原美春

12歳。
初めて命の芽吹きを見た。
生まれたばかりの姪は小さな胸を上下させ
手足を一生懸命に動かし
瞳に湖を閉じ込めて
「おなかすいたよ」
「オムツを替えて」と
カー杯、声の限りに訴える
大きな泣き声をそっと抱き寄せられる今日は
平和だと思う。
赤ちゃんの泣き声を愛おしく思える今日は
穏やかであると思う。
その可愛い重みを胸に抱き
6月の蒼天を仰いだ時
一面の青を分断するセスナによって
私の思いは76年の時を超えていく
この空はきっと覚えている
母の子守唄が
空襲警報に消された出来事を
灯されたばかりの命が消されていく瞬間を
吹き抜けるこの風は覚えている
うちなーぐちを取り上げられた沖縄を
自らに混じった鉄の匂いを

踏みしめるこの土は覚えている
まだ幼さの残る手に
銃を握らされた少年がいた事を
おかえりを聞くことなく
散った父の最後の叫びを
私は知っている
礎を撫でる皺の手が
何度も拭ってきた涙
あなたは知っている
あれは現実だったこと
煌びやかなサンゴ礁の底に
深く沈められつつある
悲しみが存在することを
凜と立つガジュマルが言う
忘れるな、本当にあったのだ
暗くしめった壕の中が
憎しみに満たされた日が
本当にあったのだ
漆黒の空
屍を避けて逃げた日が
本当にあったのだ



けっしょく
血色の海
いくつもの生きるべき命いのちの
大きな鼓動こどうが
岩いわを打つ波なみにかき消され
万歳ばんざいと投げ打たれた日が
本当にあったのだと

6月いろどを彩る月桃げつとうが揺蕩たゆたう
忘れないで、犠牲ぎせいになっていい命いのちなど
あって良かったはずがない事を
忘れないで、壊すのは、簡単かんたんだという事を
もろく、危あやうく、
だからこそ守るべきこの暮らしくらしを

忘れないで
誰もが平和へいわを祈いのっていた事を
どうか忘れないで
生きることの喜よろこび
あなたは生かされているのよと

いま摩文仁まぶんにおかの丘おかに立ち
私は歌うたいたい
澄すんだ酸素さんそを肺はいいっぱいにとりこみ
今日けふ生きている喜よろこびを
震ふるえる声帯せいたいに感じて
決意けついの声高らかに

みるく世よぬなうらば世よや直なおれ

へいわ せかい
平和な世界は私たちがつくるのだ



とも た
共に立つあなたに
かん ほ
感じて欲しい
だき ちしお なが
滾る血潮せんじんに流れる先人の想おもい



共に立つあなたと
歌うたいたい
蒼穹そうきゅうへ響ひびく癒いやしの歌
そよぐ島風しまかぜにのせて

歌うたいたい
へいわ みらい とど たましい
平和な未来へ届たましいく 魂の歌

私わすたちは忘れないこと
あの日できごとの出来事つたを伝つづえ続けること
繰くり返かえさないこと
命いのちの限かぎり生かき
決意けついの歌を歌うたいたい

いま摩文仁まぶんにおかの丘おかに立ち
あの真太陽またいようまで届とどけと祈いのる
みるく世よぬなうらば世よや直なおれ
平和な世へいわがやってくる
この世はきっと良よくなっていくと
繋つながれ続つづけてきたバトン
素晴すばらしい未来みらいへと
信しんじ手渡てわたされたバトン
生いきとし生いけるすべての尊とうとい命いのちのバトン

今、私たちの中にある

あんこく か こ と
暗黒の過去を溶かすことなく
あやま ぶた た み とう
あの過あやまちに再ふたび身みを投とうじることなく
つな つづ
繋つなぎ続つづけたい

みるく世よを創つくるのはここにいるわたし達だ

